

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公開番号】特開2006-148302(P2006-148302A)  
 【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-022  
 【出願番号】特願2004-333047(P2004-333047)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N 5/93 (2006.01)**  
**G 0 9 G 5/00 (2006.01)**  
**G 0 9 G 5/36 (2006.01)**  
**H 0 4 N 5/91 (2006.01)**  
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z  
 G 0 9 G 5/00 5 5 0 R  
 G 0 9 G 5/36 5 2 0 K  
 H 0 4 N 5/91 J  
 H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月6日(2007.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

横長サイズのサムネイル画像と前記サムネイル画像より高い解像度の主画像とが格納されている画像ファイルにアクセスするアクセス手段と、

前記画像ファイルに記録された被写体の被写範囲が縦長であるか否かを前記画像ファイルに基づいて判定する被写範囲判定手段と、

前記被写範囲が縦長である場合、前記サムネイル画像に基づいて前記被写体を縦長の画面内領域に表示した後に、前記主画像に基づいて縦長の画面内領域に前記被写体を表示する表示手段と、

前記横長サイズのサムネイル画像の縦長の画像内領域に前記被写体が記録されているか否かを前記サムネイル画像のヒストグラムに基づいて判定するサムネイル画像判定手段とを備え、

前記表示手段は、前記被写範囲が縦長であって前記被写体が前記横長サイズのサムネイル画像の縦長の画像内領域に記録されている場合、前記サムネイル画像を回転させずに前記画面上に表示することを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

前記表示手段は、前記主画像の属性情報に基づいて前記主画像とアスペクト比が同一の縦長のクロップ画像を前記サムネイル画像から切り出し、前記クロップ画像に基づいて前記被写体を縦長の画面内領域に表示した後に、前記クロップ画像に基づいて前記被写体が表示された縦長の画面内領域に前記主画像に基づいて前記被写体を表示することを特徴とする請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

画像ファイルに記録された被写体の被写範囲が縦長であるか否かを前記画像ファイルに基づいて判定する被写範囲判定段階と、

前記被写範囲が縦長である場合、前記画像ファイルに格納された横長サイズのサムネイル画像に基づいて前記被写体を縦長の画面内領域に表示する第一表示段階と、

前記被写範囲が縦長である場合、前記画像ファイルに格納され前記サムネイル画像より高い解像度の主画像に基づいて、前記第一段階の後に前記被写体を縦長の画面内領域に表示する第二表示段階と、

前記横長サイズのサムネイル画像の縦長の画像内領域に前記被写体が記録されているか否かを前記サムネイル画像のヒストグラムに基づいて判定するサムネイル画像判定段階とを含み、

前記第一表示段階は、前記被写範囲が縦長であって前記被写体が前記横長サイズのサムネイル画像の縦長の画像内領域に記録されている場合、前記サムネイル画像を回転させずに前記画面上に表示することを特徴とする画像表示方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像表示装置、画像表示方法